

## 令和6年度（2024年度）教育の重点目標

- 1 心身ともに逞しく豊かな人間性と生きる力を備えた生徒の育成
- 2 他者への思いやりを大切にし社会に貢献する生徒の育成

### 校長が示す学校経営方針

#### ①キャリアを繋ぐ教育実践

実用的な知識・技能・態度・表現力の育成

#### ②関係者全員の共通理解による教育活動の充実

家庭・関係機関・医療・療育との連携強化

#### ③人と繋がる社会生活力の育成

自他共に認め合える生徒間の人間関係の構築

#### ④社会と繋げる進路指導

社会のルールやマナーの理解促進と社会人としての素地の育成

### （4）教育の重点事項

#### ①設置目的：企業就労を目指した進路指導

#### ②研究と修養：研究テーマに基づく実践研究のまとめと公開

#### ③専門性：校内支援体制構築と地域に根ざす教育推進のためのセンター的機能充実

#### ④教育基盤：「環境は人をつくり、人が環境をつくる」教育環境整備と人材育成

#### ⑤教育課程：自立活動充実のためのカリキュラム・マネジメント

#### ⑥働き方改革：風通しの良い学校組織と報・連・相の徹底

#### ⑦連携強化：外部の関係機関との連携強化により協働による教育活動の充実

### （5）重点事項の具現化

#### ①人権教育

全ての教育活動において人権教育の視点に立った実践を行い、人権感覚の醸成を図る。

#### ②進路指導

全教職員が進路保障に関する専門性を高め、全ての生徒の進路保障を行う。卒業生の追指導については、関係機関との連携を早い段階で行う。

#### ③コンプライアンス

学習指導要領の改訂を踏まえ、授業実践研究に基づいた教育課程編成に努める。

#### ④道徳教育

命を育み、自律や社会連帯の精神を育むための道徳教育を重視する。

#### ⑤専門学科

自立の視点を大切に、コアカリキュラムとしての専門学科における指導の充実と時代のニーズに応じた教育内容の創造を図る。

#### ⑥生徒指導

自立の視点に基づき、基礎・基本を大切に教育を計画的に行う。また、生徒の個性や環境要因を考慮しながら個別の指導プログラムを策定し、生徒指導を行う。

## ⑦自立活動

自立活動に関する指導の充実を図り、生徒のコミュニケーション行動や心理面へのアプローチを行うとともに、校内支援委員会の充実を図る。

## ⑧センター的機能

巡回相談や情報発信により地域の教育力向上に努める。特に高等学校における特別支援教育推進に寄与する。

## ⑨安全・安心

安全で安心な学校づくりを行うための防災教育・安全教育の推進、地域と一体となった教職員の実践的危機管理能力の向上を図る。

## ⑩健康

生徒の健康の保持増進に努めるとともに、身体的、心理的な発達を踏まえた保健指導を行い、関係医療機関との連携を図る。

## ⑪環境教育

全日本学校関係緑化コンクール特選受賞の経験をもとに、取組の進化と継続に努める。

## ⑫エビデンス

- ・自立活動に関する研究テーマを設定し、実践研究を推進しながら教職員の専門性向上を図るとともに、実践を広く公開する。
- ・校内授業研究会や専門性向上に関する校内研修会を実施する。

## ⑬インフォームドコンセント

家庭・関係機関・医療・療育・地域との連携を強化し、信頼関係を構築する。

## ⑭事務処理

不適正経理防止と円滑な文書処理により業務のスリム化を図るとともに、計画的に設備更新を図る。

## ⑮寄宿舎

生徒の生活自立に向けた寄宿舎における新たな指導内容や方法の構築を行う。

## ⑯学校改革の視点に基づくカリキュラム・マネジメント

### 視点1：組織改革

- ア 多様化する教職員の業務を「負担軽減」という観点から組織改革を行い、スリムな組織、わかりやすい学校運営を行う。
- イ 教職員の個性や得意分野を活かした人材配置を行い、組織の活性化を図る。

### 視点2：授業改革

- ア 基礎的・汎用的能力の視点から作業学習の在り方について検討する。
- イ 教職員の教科指導力向上により、生徒の知的欲求の充足を図る。
- ウ 言語活動を活発にし、コミュニケーション能力や自己表現力の育成を図る。
- エ 音楽や美術などの芸術活動を通して、生徒の感性を育む。
- オ 自立活動の視点を重視した授業づくりを行う。
- カ 進路を巡る社会構造の変化、21世紀型能力の育成、学習指導要領改訂を見据えながら教育課程の再編成を推進する。